



よきおとずわ

CATHOLIC NAGASAKI MONTHLY

カトリック長崎大司教区報

①一般の意向：テロリズムの消滅
②宣教の意向：アフリカの発展
③日本教会の意向：諸宗教との対話と福音宣教

死者の月
殉教者のメッセー
ジに
耳を傾ける

ベルトーネ枢機卿は、同日ローマの教皇庁サレジオ大学の始業式に出席、報道関係者の質問に答えた。

かつてくる。いくら後ろを振り返つても割り付け校正などのスケジュールは待つてはくれない。今できることは何か、どうすれば残りの時間で問題を解決できるか、考える以外にない▼今月は死者の月。私たちは人生という時間を与えられて、その結果を最終的にお返ししなければならぬ。神から託された人生にはつきりした締め切りはない。そうなると、ある時期はのんびりしてもいられるが、どこかの時点で締める意識し、間に合うように準備を急がねばならない。仮に締め切りに間に合わず、結果をお返しする準備のできてなかった人が身近にいるとうであれば、私たちが祈りで助けてあげることが考へておくべきだろう。

聖フランシスコ・ザビエル 生誕500年記念ミュージカル

～Xavier Vive En Ti～
ザビエルは、あなたの中に生きている
ザビエル、再び長崎へ



佐世保市民会館
12月1日(金)
【会場18:30 開演19:00】

植松教会信徒会館(大村)
12月2日(土)
【19:00～21:00】

神崎教会(小佐々)
12月3日(日)
【10:30～12:30】

ザビエル年終盤に入
ったが、佐世保地区では、
大村市を加え、『ザビエ
ル生誕500年記念公演
ミュージカル』を行なう。
この歌劇は、スペイン
文化省の支援を受け、ザ
ビエルの宣教師を現代に
も生かしたいと、愛知県
で開催された『愛地球博』
でも上演された本格的な
もの。原作者がザビエル
役で本名もフランシス
コ・ザビエル。彼の宣教
魂もあついで。
信者のための記念行事

で終わる昨今、宣教を第
一に掲げ、一般の人や学
生にも観てもらえるよう、
学校に無料鑑賞券を配布
するなど様々な工夫を檢
討中。特に、1400席
の市民会館を市民でいっ
ぱいにしようと信徒が草
の根的に動き始めている。
公演は、12月1日(金)
19時 佐世保市民会館、
2日(土) 19時 植松教会
信徒会館、3日(日) 10時
30分 神崎教会、お問い
合わせはTEL0956(4)
2480山田まで。

ザビエル記念公演ミュージカル

一行は、鹿児島を
当日朝バスで出発し、
開演1時間前に教会
に到着するという長
旅の疲れも見せず、
聖堂に集まった約2
50人の聴衆を前に、
美しい聖歌の合唱を
披露した。中には、
目を閉じ、手を合わ
せて聴き入る人の姿
も見られ、「砂漠の



コンサート風景

ザビエルの道 巡礼コンサート

オアシス」ともたとえら
れるグレゴリオ聖歌の響
きを満喫していた。
この公演では、大塚珍
しいと言われるスペイン
のモサラベ聖歌も披露さ
れ、締めくくりに聖母賛
歌「サルヴェ・レジーナ」
で1時間半の公演を終了
した。

全国教区広報担当者会議 13教区から参加

「新聞作りの基本とは―教区報の紙面作りを中心
に」と題して2006年の全国教区広報担当者会議
が10月16日から3日間、東京の日本カトリック会館
で開かれ、北は札幌教区から南は那覇教区の広報担
当者、修道会出版関係者など約30人が出席した。
初日のオリエンテーションでは中央協議会広報部
長の久志津男神父の司会のもと、事務局長の前田
万葉神父が出席者全員に歓迎の言葉を述べた。続い
て各教区の広報担当者
活動報告を分かち合い、
カトリック新聞の編集長
ほか担当者を囲んでカト
リック新聞の拡充につな
がる提案を拾うための意
見交換会も行われた。
翌日は午前中に共同通
信社の西出勇志氏(写真
下)、午後からは毎日新
聞社の内藤麻里子氏の講
演に耳を傾けた。西出氏は記者時代に宗教問題に取
り組み腕を磨いた経験から今回の依頼となった。最
近では京都で開かれた「世界宗教者平和会議」の取
材にも、講演の仕上げはこの平和会議の素材をもと
に記事の書き方の演習をした。
「分かるまで聞くこと」「公平な立場で見る。倫理
観をもって事に当たる」「固有名詞の間違いがないか、
近づいて見る」「全体の構成に問題がないか、引いて
から見る」「どの書き方がすっきり読めるか、躍動的
かを吟味する」など、重要な点を押さえた話だった。



中でも「訃報記事」に
ついては時間を割いて説
明が加えられた。訃報記
事は個人情報塊であり、
情報に決して誤りがあつ
てはいけないので、慎重
にも慎重を期すよう注意
を促した。教区の広報誌
も訃報記事を取り扱うの
で、特に気をつけて話を
聞いた。
午前の講演を受けて午後を担当する内藤氏は、実
際の紙面の割り付けに関する実践的なアドバイスを
提示してくれた。記事そのものの正確さは何より大
切だが、その記事を生かすのは紙面の割り付けであ
る。見出しや写真の配置の仕方、記事の形をあえて
真四角にしない工夫、やわらかい記事をやわらかく
伝えるレイアウト、どんな新聞でも気をつけている
「禁じ手」、見出しがあまりにも奇抜すぎて記事が
台無しにすることのないようになど、「習うより慣
れる」式で広報誌の編集に飛び込んだ者には重みの
ある説明だった。
最後に9つのグルー
プを作って編集作業に実
際に取り組み、この日の勉
強内容を形にしたものを
集めて率直な意見交換を
した。すべてに発見と驚
きがあり、あらためて教
区広報担当者としての自
覚が芽生える研修となっ
た。(中田輝次神父)



講演を熱心に聴く広報担当者



中央・内藤氏から実践的に学ぶ



全国の広報委員が集ま
るこの機会に、188殉
教者の列福運動に共通理
解を得るため、司教協議
会殉教者列福調査特別委
員会の秘書であるイエズ
ス会平林冬樹神父から説明を受けた。平林神父は、
「今回の列
福運動を、
日本の教会
全体の活性
化に結びつ
けたい。」
「どんな組織でも、その歩むべき方向性を見失い
かけたときに原点に立ち帰る。日本の教会の原点
はキリシタン時代である。過去の先輩の信仰を現
代に分ち合い、日本の教会が一つになり、未来
に向かって着実に歩み続けるための牽引力となれ
ば」と今回の殉教者列福の意義を話した。
今回列福を申請している殉教者の特徴は、18

8人全員が日本人の殉教者であるということ、そ
の中で司祭、修道者は5人だけであとは信徒であ
るということ、9つの教区にまたがる全国的な規
模であること、宣教にやってきた修道会の主導で
はなく日本の教会が最初から今回の殉教者列福の
申請にたずさわっていることなどである。
現在188殉教者列福運動は、枢機卿会議での
承認を待っ
ている段階
会議での承
認を経て教
皇ベネディ
クト16世が
最終決定を行い、福者の場合は日本での列福式と
なる。列福式の候補地は長崎であり、来年11月頃
を計画している。
平林神父は「188殉教者列福運動の様子を、
日本の教会すべての運動とするため、できる限り
の広報手段を使って教区のすべての人々に列福の
意義を伝えてほしい」と訴えた。

●平本與之助様(紐差)
故ヨハネ平本與之助様
右の方から香典返しに
代えてご芳志を賜りまし
た。お礼とご報告を申し
上げますとともに故人の
ごめい福を心からお祈り
申し上げます。

●匿名様(鮑の浦)
長崎カトリック神学院
●匿名様(浦上)
右の方々からご寄付を
賜りました。お礼とご報
告を申し上げます。

●匿名様(鮑の浦)
長崎カトリック神学院
●匿名様(浦上)
右の方々からご寄付を
賜りました。お礼とご報
告を申し上げます。

●匿名様(鮑の浦)
長崎カトリック神学院
●匿名様(浦上)
右の方々からご寄付を
賜りました。お礼とご報
告を申し上げます。

●匿名様(鮑の浦)
長崎カトリック神学院
●匿名様(浦上)
右の方々からご寄付を
賜りました。お礼とご報
告を申し上げます。

●匿名様(鮑の浦)
長崎カトリック神学院
●匿名様(浦上)
右の方々からご寄付を
賜りました。お礼とご報
告を申し上げます。

●匿名様(鮑の浦)
長崎カトリック神学院
●匿名様(浦上)
右の方々からご寄付を
賜りました。お礼とご報
告を申し上げます。

●匿名様(鮑の浦)
長崎カトリック神学院
●匿名様(浦上)
右の方々からご寄付を
賜りました。お礼とご報
告を申し上げます。

●匿名様(鮑の浦)
長崎カトリック神学院
●匿名様(浦上)
右の方々からご寄付を
賜りました。お礼とご報
告を申し上げます。

●匿名様(鮑の浦)
長崎カトリック神学院
●匿名様(浦上)
右の方々からご寄付を
賜りました。お礼とご報
告を申し上げます。

●匿名様(鮑の浦)
長崎カトリック神学院
●匿名様(浦上)
右の方々からご寄付を
賜りました。お礼とご報
告を申し上げます。

●匿名様(鮑の浦)
長崎カトリック神学院
●匿名様(浦上)
右の方々からご寄付を
賜りました。お礼とご報
告を申し上げます。

●匿名様(鮑の浦)
長崎カトリック神学院
●匿名様(浦上)
右の方々からご寄付を
賜りました。お礼とご報
告を申し上げます。

●匿名様(鮑の浦)
長崎カトリック神学院
●匿名様(浦上)
右の方々からご寄付を
賜りました。お礼とご報
告を申し上げます。

●匿名様(鮑の浦)
長崎カトリック神学院
●匿名様(浦上)
右の方々からご寄付を
賜りました。お礼とご報
告を申し上げます。

●匿名様(鮑の浦)
長崎カトリック神学院
●匿名様(浦上)
右の方々からご寄付を
賜りました。お礼とご報
告を申し上げます。

御像のぬり替え・補修
家庭内や外庭に色がはげたり、傷ついたりした
御像がありましたら御連絡下さい。
ヨゼフ 山崎 満
長崎市下黒崎町 3433-2
☎ 0959-25-1117
携帯 090-2714-3192

主の平安
カトリック式葬祭・飾付一式
(有) 栄光式典社
代表取締役 ハウロ 西村 勇夫
長崎市辻町7-18 TEL(095)844-4011
24時間営業 FAX(095)843-9896

12月3日(日)からの
待降節中の日曜日
は営業します!
キリスト教書籍・用品専門店
サンパウロ 長崎宣教センター
長崎市上野町2-6(カトリックセンターから徒歩1分)
TEL 095-841-8033 FAX 095-841-8034

白蟻調査無料・駆除予防工事5ヶ年保証付
白蟻防除施工士
大田白蟻研究所
代表者 マリバ 大島 睦子
(〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号
☎長崎 095-822-8436
FAX 095-822-8436

平成19年度 園児・児童・生徒募集
Love to learn and Learn to love
幼稚園 願書受付 11月1日(水)～11月20日(月)
入園面接 11月28日(火)
小学校 願書受付 11月1日(水)～11月16日(水)
入学面接 11月21日(火)・22日(水)
中学校 願書受付 11月20日(月)～12月2日(土)
入学試験 12月9日(土)
聖マリア学院 幼稚園 TEL 844-2667
小中学校 TEL 844-1549
http://www1.cncm.ne.jp/~st-maria/

聖トマス西と15殉教者ミサ



9月24日、中町教会と長崎南地区評議会の協

力で行われた。昨年実現できなかった長崎歴史文化博物館広場からサン・ドミンゴ教会跡を

通って中町教会に向かう祈りの行列も、今年は大勢の参加者を得て実現することができた。



殉教者の遺徳を次の世代に

行列の出発地である歴史文化博物館では、26聖人記念館館長レンゾ神父が殉教者の模範に私たちが信仰生活のヒントを見つけ出すように分りやすく話してくれた。中町教会では殉教者の記念碑で高見大司教が献花をして記念ミサの行列(写真)に移っていった。400人の参加者に大司教は説教の中で、「殉教者に学ぶ中での時代は何を見なければならぬかを見いだしましょう」と力強く促した。長崎南地区全体としてこれからも16殉教者の遺徳を次の世代に伝えていきたい。

「国家と差別」シンポジウム

—11月23日北九州市で開く—

日本カトリック部落問題委員会(委員長・谷大二)が主催のシンポジウムが11月23日(木)13時から北九州市小倉教会を会場として開催される。これは日本の3つの教会管区持ち回りで開かれており、今回のシンポジウムは長崎教会管区担当、長崎教会ではこの分野の担当はエキメニズム・諸宗教委員会が諸宗教者とともに取り組んでいる。差別問題に取り組むことは即、福音の神髄に迫ることと認識が深まってきており、多くの人の参加が期待されている。

ハトリック師

金祝



前城山教会主任エドワード・ハトリック師の

司祭叙階50周年記念ミサが10月9日城山教会で行われた。同師は1997年南アフリカ共和国へ派遣され、現在3小教区信徒2600余人の司牧に携わっている。城山小教区評議会は記念ミサ後、聖マリア学院体育館で祝賀会を催した。この11月で「喜寿(77歳)」を迎える。

バッターボックス

高見大司教



は佐世保地区連合婦人会手作りの昼食が振る舞われ、黒島教会婦人会の仮装応援団が会場をさらに盛り上げた。



選手宣誓

司祭回ソフト大会

9月26日(火)、澄み切った秋空のもと、佐世保の名切グランドを会場に、恒例の司祭回ソフトボール大会が行われた。

悩んだが、民間テレビ局から会議室、指導者の協力を受け、今日の活動につなげている。現在、音訳、校正、C

から参加を得て、計5チームが対戦した。大会は高見大司教の始球式で始まり、フライングプレー、珍プレー続出の中、熱戦が繰り広げられた。当日

今年優勝は長崎Bチーム、その他個人賞としてホームラン賞、完投賞、ファインプレー賞、新人賞、パフォーマンス賞(黒島教会)が各司祭団体に贈られた。夜の親睦会で、参加した司祭たちは、互いの健闘をたたえ、日頃の労をねぎらっていた。

10月4日、老衰のため大村市中澤病院で帰天。90歳。五島市三井楽町生まれ。



三井ハルさん(相浦・三井誠一師実母)



マリア 鼻崎キクノ修道女(お告げのマリア修道会)

35年前に先立った夫兼太郎さんとの間に10人の子供をもうけ、そのうち1人の司祭と2人の修道女を教会にささげた。葬儀ミサと告別式は6日、高見大司教主司式により30人余の司祭、聖堂あふれる参列者とともに植松教会で行われた。

マリア 川端エイ子修道女(お告げのマリア修道会)



10月7日、五島市聖マリア病院で帰天。68歳。1938年五島市久賀町生まれ。61年初誓願、75年終生誓願立。入会後は、北松・五島地区で保育士および責任者として地域福祉に携わる。闘病にあつては、ご聖体との一致のうちに、穏やかに病苦をささげ尽くし、45年間の奉獻生活を全うした。

聖堂に響く 祈りの歌

オラシヨ—浦上

「天主堂に響け! 祈りの歌・オラシヨ」教皇来崎25周年記念コンサート(写真)が10月22日浦上教会(主催長崎大司教区)で行われ約1300人の聴衆を魅了した。



受難のキリシタン時代を乗り越え、代々受け継がれてきたオラシヨ(祈り)が作曲家大島ミチル(長崎純心高出身)、北村協一氏の協力により、男性合唱曲「御誦(ごしょうオラシヨ)」①ガラサ道②アヴェ・マリア③哀踊(みのよう)④獅子の泣き唄⑤御誦組曲を小林香太指揮で同志

ぶが演奏。カトリック合唱団団員の1人は「豊かな声量、祈りの歌の深

教区典礼委員会主催

研修会

10月1日(日)教区典礼委員会主催の研修会が長崎市の大里聖家族教会で行われた。テーマは「聖書によるロザリオ」。遠くは西海市や松浦市から信徒・修道者合わせて32人の参加があった。写真。



まずロザリオの歴史や神秘を黙想する意味について説明があった。その中で前教皇ヨハネ・パウロ2世の使徒的書簡「おとめマリアのロザリオ」が紹介され、ロザリオはマリアへの祈りの形を取りながらもその中心がキリストにあることなどを

学んだ。また「栄光の神秘」をそれに該当する聖書の箇所を読んで黙想し、黙想文や祈願文を作成した。研修会の終わりに参加者が実際に作成したものをういてロザリオの祭儀を行った。

参加者からは「ロザリオはいつも唱えています、このような方法で唱えるのは初めてでした。



視覚障害者のための声の奉仕会

マリア文庫代表 野崎 博子さん



ク新聞「よきおとずれ」(長崎教区報)、「聖母の騎士」をはじめとしたキリスト教関係の月刊誌・単行図書、一般の良書を「今、全国から数百人の

D図書作りなどの奉仕者は実働1000人を超え、うち30%の人がカトリック者。活動内容は「カトリック

視覚障害者が文庫を利用して活動しています。こうした活動が続けられてきたのは、多くの方々の祈り、支えがあったからこそだ

と、と次のように話している。「視力を失い、指を失い、家族を失い、わびし

くきびしい年月を過ごしてこられた方々にお会いしたときの感動は忘れることができません。それ以来この方々の存在は私たち文庫の活動力の根源となつています。障害者の見えない不自由さを少しでも担わせていただきたいのです」

マリア文庫、長崎市橋口町5-18。

夏休みの「黙想会」 ザビエルを学び作文

ザビエル生誕500年を深める行事として植松教会の小学生は、夏休みの「黙想会」で、ザビエルについて作文に挑戦した。子供たちの目線であらえたザビエルの紹介。(植松教会だよりから転載)

がまん強く勇氣ある人

3年 鎌田 飛佳瑠

ぼくは今日、教会学校のもくそう会でフランシスコ・ザビエルのことを勉強しました。500年前に生まれたザビエルはキリストのことを教えるために日本にきました。



ザビエルは日本人の人に、キリストのことを教えました。日本人は、しんじ

ヨハネによる福音11章 25

イエスは言われた。「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。…」皆さんは身近な人の死を体験したことがあるでしょうか？ 私が初めて

「死」というものに直面したのはおばあちゃんの死でした。それは私が小学6年生の時でした。1週間ぐらい前から病院に入院していたおばあちゃん

みことばにふれて

本田靖彦神父



起りました。それまではおばあちゃんが入院してからというもの、家族のみんなから笑顔が消えていました。そんな孫た

学6年生の女の子が「遺書」を残して自殺してしまいました。「私が死んだら読んでください」と書かれた遺書…。どんな気持ちでその遺書を書

いたのか、私たちはよく考えなければならぬと思います。たとえ命をうばっていても、心を殺してしまうことがあるというのを私たちは知

日んときは神父さまは隣り司祭館に泊まりよったもんね。子供のころの思い出は――尋常小学校のとき、アメリカ兵が上がつてきて、たまたが見と

らなん。南越教会(橋口武・ヨシノさん夫妻)世帯数は14軒。ミサ参加者は10人ぐらい。教会への石段、ロザリオの珠(たま)の数あるとか――そうよな、みんな歳をとってわっかもんが

準備やキリスト道を求める方々とともに学び合ったその道程を軽やかにつづっている。著者自身の「キリスト道巡礼の記録」ともなった本書は、読む者に新たな「初め」を気づかせてくれる。



聖モニカ

サンパウロ発行、1700円。とって涙の出るごと嬉し

聖フランシスコ・ザビエルの年譜

- 1506年4月7日 スペイン(ナバラ王国)ザビエル城で誕生
- 25 パリ・バルバラ大学入学
- 34 イグナチオ・デ・ロヨラらとパリのモンマルトルの丘の聖堂で「イエズス会」結成
- 37 ヴェネチアで司祭叙階
- 41 インドへ出港
- 45 インドのゴアへマラッカ到着
- 47 ヤジロウと出会う
- 49 日本布教のためマラッカ出発、8月15日鹿児島上陸
- 51 10月平戸～山口へ 1月京都に到着するが天皇に会えず、4月山口で大内義隆に会って布教の許可を得る。9月大分で大友義鎮(宗麟)の招きで布教、11月15日豊後から日本を離れる
- 52 8月中国布教のため上川島に到着、12月3日中国・上川島で帰天。46歳。

注/平戸ザビエル記念教会案内参考



ザビエル城内(スペイン)に展示

人」というテーマで、日本に初めてイエスさまの話をしたフランシスコ・ザビエルについて学びました。勉強ではザビエルがどこで生まれたか、日本のどこに行ったかなどいろいろなことを学びました。

今年、ザビエルのことを学んだわけは、今年が、「ザビエルの年」だからでした。ぼくたちが神さまの子供なのはうれしいことです。けれど、ザビエルが日本に来なかったら、たぶんぼくたちは神さまの子供にならなかったと思います。なのでぼくたちはザビエルに感謝したいといけな

ザビエルについてあまり知りませんでした。でももうそう会でザビエルは日本にキリスト教を伝えたとや、長崎の平戸にいたことが分かりました。またザビエルがたくさんの人に洗礼をさすけたことが分かりました。それに日本人 ヤジロウとの出会い、日本のいいところなど、ザビエルがどんなことをしていたのかくわしく知ることができました。

そして改めてザビエルのすごさ、一生けん命さが分かりました。私もザビエルのように何事も一生けん命に最後まであきらめないで、ヤジロウのように、礼儀正しく、学ぶことの好きな日本人になりたいです。

新刊良書

★前へーあるキリスト道巡礼記

橋本 勲著

純心中学校・純心女子高等学校

貸セリモノイベント2006

2006年12月2日(土) 13:30~15:00

対象: 小学生の女子児童とご家族様
内容: 聖堂・クリスマスのお話・聖歌
ホール/ティーパーティ・ゲーム
すてきなプレゼントを準備して、お待ちしております。

高等学校説明会

2006年12月8日(金) 14:00~20:00

入試日程

中学 1次募集: 12月23日(土) 2次募集: 2月10日(土)
高校 推薦選考: 1月16日(火) 試験選考: 1月31日(水)

お問い合わせ TEL: 095-844-1175

墓地改修・新設 法定手続・計画・施工

主な施工実績 城山教会墓地、浜串教会墓地、
鮑ノ浦教会墓地、青砂ヶ浦教会墓地

(有)長崎大理石 社長 ヨハネ 浜本直行

本社 長崎市つつじが丘5-1-15 095-839-0374
加工工場 諫早中核工業団地

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売

たつみ産業株式会社
西田商事株式会社

代表取締役 ミカエル 西田 寛己
本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地
TEL (0956) 31-8268

平成19年度 生徒募集

■中学入試 ■高校入試

一次入試 1月 6日(土) 特進クラス選抜入試 1月16日(火)
二次入試 2月10日(土) 一般一次入試 1月31日(水)
一般二次入試 3月16日(金)

長崎南山 中学校 高等学校 TEL 095-844-1572
URL http://www.n-nanzan.ed.jp/

交通誘導警備 常駐警備 イベント警備

(有)小田警備保障

警備員募集!

電話 095-856-6524 FAX 095-856-6523

長崎市横尾3丁目31-15 代表取締役 テレジア 小田寿美子
専務取締役 パウロ 小田 睦